

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	佐久地域の生活を支える地域防災力の向上事業
事業主体 (連絡先)	長野LP協会佐久支部 (佐久市跡部65-1 佐久地方事務所内 電話0267-63-3450)
事業区分	(4) 安全・安心な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	809,082円 (うち支援金606,000円)

事業内容

小諸市、佐久市、御代田町総合防災訓練において次の事業を実施

●緊急携帯充電ステーションの実演 (長野県下初)

大災害の際には、通信インフラが混乱する中で、被災者等の携帯電話に充電するため、寄贈したLPガス発電機を活用した「緊急携帯電話ステーション」の実演を行う。一度に20台充電が可能。(携帯電話会社各社に対応可能災害対策用充電器 NTT docomo提供) この訓練は地域住民が参加、体験でき、災害対策機器の進化にあわせた県下初の先進的な訓練である。



【緊急携帯電話充電ステーション】

●炊き出しセットの展示及び「災害時に役立つ料理レシピ本」の配布

寄贈した炊き出しセットを展示と説明を行う

炊き出しセットはご飯と汁物50～120人分調理可能なものを展示する。

炊き出しセット等での活用を想定し、災害時に家庭の冷蔵庫などにある食材で直ぐに役立つ手軽なレシピ集を、長野県調理師会佐久平支部と連携して作成する。佐久地域では初めての災害時活用できる料理本である。

- ・作成レシピ：8品

日常どこの家庭にもある材料を使ってのレシピ (写真付き)

- ・被災初動期の安全確保のための手順 (イラスト付き)

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

【目標・ねらい】

①首長・市町防災担当者及び地域住民に災害時にLPガス発電機を利用した携帯電話の充電体験、発電機を実際に動かしてもらう等、多くの参加者と連携した訓練が実施出来た。また、当日佐久市赤十字奉仕団に炊き出し用のLPガスを緊急的に供給するなど災害支援の有用なエネルギーであることを実践できた。

①市町及び地域住民と連携した訓練を実施し、地域防災力の向上をはかる

②災害時に活用できる料理レシピ本を作成し、関係機関及び地域住民に配布

②災害時に活用できる料理レシピ本を作成し、市町及び地域住民に配布し災害時に役立つ

小諸市総合防災訓練 366冊配布

佐久市総合防災訓練 300冊配布

御代田町総合防災訓練 265冊配布

③長野県調理師会佐久平支部と連携し防災意識を高める

④LPガス関連機器の災害時における新しい使い方の提案等をおこない災害時に役立てもらう

その他 新聞にレシピ本記事が掲載されたことにより
希望者(幼稚園、防災関係団体)に315冊配布

- ③家庭に常時ある食材で手早く調理できるメニューを
長野県調理師会佐久平支部と連携し考案。メニューは
栄養も考えて佐久保健福祉事務所管理栄養士の指導の
もとカロリーも標記。佐久地域では初めての災害時活
用できる料理本を作成できた。
今回、調理師会と交流・連携してレシピ本の作成にあ
たれたことは、防災意識の向上につながった。

※自己評価【A】

【理由】

市町及び地域住民と連携した訓練を実施できたことは、『地域防災力の向上』をはかることができた。

- ④LPガス発電機及び炊き出しセットなどLPガス関連
機器が災害時に避難所等で有効に活用できることを周
知できた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

本年度は、市町及び地域住民ならびに関係団体と連携した事業が実施できた。当会で事業に対する反省及び今後この事業をどう進展させていくかなどを会議に諮ったところ、今年度作成した『災害時に活用できる料理レシピ』本を活用し、実際に炊き出しの実演を行う。これにより、災害時避難所等において炊き出しセットを活用し、日常的に家庭にある食材で温かい食べ物を提供できることを地域住民に周知する。

また、炊き出しについても日本赤十字奉仕団及び社会福祉協議会などとも連携しながら実演をおこなうことにより、災害時避難所等において、避難者に迅速に温かい食べ物を提供できる協力体制を構築したいと考えている。その際は地域が限定される防災訓練ではなく、広範囲に開催されるイベントに出展し、積極的に災害支援に有効なエネルギーであることを発信し、地域の防災力向上をはかっていきたいと考えている。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある